

教 育 委 員 会 臨 時 会 議 事 日 程

令和2年10月16日（金）午前10時00分

- 1 会議録の承認
- 2 一般報告・その他報告事項
新型コロナウイルス感染症への対応について
第2の日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」の開設について
- 3 その他

令和2年10月16日

教育委員会臨時会 一般報告

1 市会関係

○10/13 決算第一特別委員会（採決）

○10/14 本会議（第4日）決算議決

2 市教委関係

（1）主な会議等

（2）報告事項

○新型コロナウイルス感染症への対応について

○第2の日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」の開設について

3 その他

新型コロナウイルス感染症への対応について

1 学校の様子について

宿泊行事等状況調査結果について

(1) 小学校 6年生修学旅行 (341校対象)

実施済み	実施予定	日帰り 実施済み	日帰り 実施予定	検討中	中止
18校	161校	3校	113校	13校	33校
(5.3%)	(47.2%)	(0.9%)	(33.1%)	(3.8%)	(9.7%)
52.5%		37.8%		9.7%	

(2) 中学校 3年生修学旅行 (147校)

実施済み	実施予定	日帰り 実施済み	日帰り 実施予定	検討中	中止
10校	72校	1校	13校	3校	48校
(6.8%)	(49.0%)	(0.7%)	(8.8%)	(2.0%)	(32.7%)
55.8%		11.5%		32.7%	

(3) 高等学校 (11校対象/14件)

実施予定(詳細検討中あり)		中止	当初から予定なし
10件(2年)		3件(1~4年)	1件
国内→国内	みなと総合、桜丘、戸塚、金沢、 東、横浜商業(商業)	金沢(1年) 横浜商業 別科(2年)	横浜総合
海外→国内	横浜商業(国際・スポマネ)、 横浜サイエンスフロンティア、南	戸塚 定時制(4年)	

(4) 特別支援学校 (病弱特別支援学校を除く 12校対象/13件) ※四捨五入の関係上、端数が生じています

	実施済み	実施予定	日帰り 実施済み	日帰り 実施予定	検討中	当初から 予定なし	R3に延期	中止
高等部	0校	1校	0校	2校	0校	1校	3校	6校
	(0.0%)	(7.7%)	(0.0%)	(15.4%)	(0.0%)	(7.7%)	(23.1%)	(46.2%)
13件	7.7%		15.4%			7.7%	23.1%	46.2%
中学部	0校	0校	0校	4校	0校	0校	1校	5校
	(0.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(40.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(10.0%)	(50.0%)
10件	0.0%		40.0%			0.0%	10.0%	50.0%
小学部	0校	1校	0校	1校	0校	0校	1校	7校
	(0.0%)	(10.0%)	(0.0%)	(10.0%)	(0.0%)	(0.0%)	(10.0%)	(70.0%)
10件	10.0%		10.0%			0.0%	10.0%	70.0%

※高等部には、高等特別支援学校を含む

※若葉台特別支援学校については、知的障害部門と肢体不自由部門をそれぞれ1件として計上

裏面あり

(5) 修学旅行を実施した学校への聞き取り

○現地で感染が疑われるケース等への対応自体は生じなかったが、看護師が同行していたことにより、「医薬品の管理」「アレルギーのある児童への対応」「鼻血や乗り物酔い児童生徒への対応」等に安心して対応できた。

○一時的に発熱した生徒への対応において、同行した看護師に、現地の医師とともにスムーズに対応してもらった。

○感染予防のための主な措置内容は以下のとおり。

- ・宿泊施設の貸切、または、可能な限り同室人数を抑える（12 畳部屋に 3～4 人）。
- ・食事は宴会場等の大部屋で、全員が前を向いて、相互の距離を保ってとる。
- ・新幹線車内での対面着席禁止、おやつ交換なし。
- ・1 人あたり 1 本、携帯用消毒液を携行させる。
- ・GoTo キャンペーンの活用により、駅からホテルまでの移動に大型タクシーを利用。

2 教職員・児童生徒の新型コロナウイルス感染状況

前回の報告以降の教職員の感染者は 1 人、児童生徒の感染者は 14 人です。

なお、令和 2 年 6 月 1 日の学校再開以降の教職員の感染者は 12 人、児童生徒の感染者は 80 人となっています。（令和 2 年 10 月 14 日時点）

横浜市立学校教員の新型コロナウイルス感染について

横浜市立学校教員が、新型コロナウイルス感染症に感染していることが確認されました。

1 当該職員に関する情報

- (1) 年代：30歳代
- (2) 性別：男性
- (3) 職種：小学校教諭
- (4) 居住地：神奈川県内（横浜市外）
- (5) 同居家族：なし
- (6) 経過：9月23日（水）発熱（37.6℃）。咽頭痛、腹痛あり。自宅療養（発症日）
9月24日（木）発熱（37.7℃）。医療機関受診。医師から、療養のため8日間出勤を控えるよう指示あり
9月28日（月）咳、味覚異常が生じたため、帰国者・接触者相談センターに相談。医療機関の受診を勧められ、別の医療機関を受診。PCR検査受検
10月2日（金）陽性判明
※最終出勤日は9月18日（金）です。
- (7) 当該教員の行動
日頃から児童の前ではマスクを着用して勤務していました。
- (8) 濃厚接触者について
保健所による積極的疫学調査の結果、学校内に濃厚接触者はいませんでした。

2 学校としての対応

学校内に濃厚接触者はいないことから、休校措置はありません。
学校の消毒については、実施済みです。

3 市立学校教職員の感染状況（10月3日現在の累計）

12人目

<参考>

市職員の感染状況（10月3日現在の累計）
39名

人権尊重・個人情報保護に御理解と御配慮をお願いします。

お問合せ先			
（教職員に関すること）	教育委員会事務局教職員労務課担当課長	石川 達治	Tel 045-671-4059
（学校としての対応に関すること）	健康教育課長	永井 隆	Tel 045-671-3234

第2の日本語支援拠点施設「鶴見ひまわり」の開設について

1 「鶴見ひまわり」開設の経緯

- 平成29年9月、日本語指導が必要な児童生徒の急増を踏まえ、中区に1か所目の日本語支援拠点施設「ひまわり」を開設し、昨年度までに407名がプレクラスに入級。
- 令和元年度、事業効果を検証するために、全校アンケート、関係校長・関係区局管理職による検証プロジェクト等を実施。
- 全校アンケートでは、プレクラスを利用した場合、その支援は有効・まあまあ有効だったという回答が93.9%。一方で、対象児童生徒が在籍していても、自宅から「ひまわり」が遠いことなど、場所を理由としてプレクラスを利用できなかったという回答が45.3%。

こうした状況を受け、第2の「ひまわり」設置の検討を開始し、日本語指導が必要な児童生徒の集住状況、主要駅からのアクセス等を踏まえ、空き教室を活用し、令和2年9月、鶴見小学校内に「鶴見ひまわり」を開設。

2 「鶴見ひまわり」プレクラス概要

帰国・来日間もない児童生徒が拠点施設に通級し、学校生活により早く適応できるように集中的な日本語指導を受けるとともに、学校生活の体験を行います。

指導内容	①初期日本語指導 ②学校生活体験 ③体育・音楽・書写などの教科につながる、授業で使う日本語指導
通級期間	4週間（週3日 水・木・金曜） 9時～14時40分
クラス	①はな組（小学校低学年）②みどり組（小学校高学年）③そら組（中学生）
指導者	統括指導者1名 教員免許、学校での指導経験を有するプレクラス指導員3名 日本語教育の資格を有する日本語講師3名

※保護者・児童生徒に日本の学校生活などを5か国語で説明する「学校ガイダンス」も毎週火曜日に実施

3 第1期プレクラスの様子

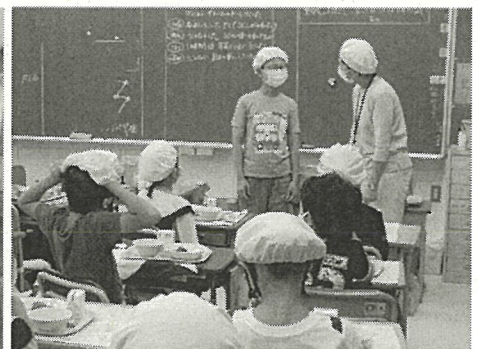
- 実施期間：9月2日（水）から9月25日（金）
- 通級児童生徒数：8名（はな組4名、みどり組3名、そら組1名）
（出身国：中国、イエメン、フィリピン、ニュージーランド）



授業で使う日本語の学習
（「筆」「墨」「文鎮」など）



中休みの鶴見小児童との交流



給食の体験、給食を通じた交流